

会議録

件 名	令和８年度第１回大網白里市子ども・子育て支援推進会議
日 時	令和８年６月２３日（火） １４：００～１５：００
場 所	中央公民館 ２階 講義室
会議参加者	別紙名簿のとおり（出席１４名、欠席５名 井澤委員、和志委員、鈴木委員 小平委員、秋山委員）渡邊委員代理（川寄副課長） 事務局 子育て支援課 北田課長、須永副課長、佐藤主査、山田主査、 藤崎主事
傍 聴 人	０名
１．開 会（事務局） ２．委員長あいさつ （所委員長） 本会議の委員長を務めさせていただいております、城西国際大学の所でございます。 本年も引き続きよろしくお願いいたします。 ３．議 題 （所委員長） それでは、議題に入らせていただきます。 議題 「第３期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」事務局から説明いただき、そのあと質疑応答に入らせていただきます。 それでは事務局から説明をお願いいたします。 ●議題 第３期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 〔子育て支援課 山田主査より資料に沿って説明〕 【資料 第３期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について】 （所委員長） ただいま、事務局の方から説明がございましたが、委員の皆様から、ご意見、ご質問等ございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。 （松本委員） 定員に対する申込者数は、ほぼ均衡してきたと思っております。量的なものは記載あるが、質的なものに対する報告がこの中にはないが、質的なものについて、どのような活動をして、どういうことを考えているかお聞かせいただければと思います。	

(事務局)

進捗状況につきまして、数字の報告ということだけになっておりまして、質の確認は行っておりません。以前から、松本委員から質のご質問は受けていましたが、今後は保育の質を含めて報告できるように方法等の調査や検討をしていきたいと考えております。

(松本委員)

誰でも通園制度が始まったばかりで、実績の数値が1となっているが、保育園側はもっと多くの見込みを想定していたと思います。

アンケートするのはとても簡単だと思うが、アンケートは行ったのでしょうか。

(事務局)

誰でも通園制度は、昨年度10月にみどりが丘保育園、11月に子育て支援館で実施しました。実績としては、1歳児において3回の利用で10時間ですが、事前に登録している方が約30人います。

その登録している方が利用しなかった理由については、確認を取っておりませんが、要因として、一時保育と競合していることも要因のひとつと認識しております。

この要因については今後、アンケート等を検討してまいりたいと考えております。

(三橋委員)

医療的ケア児についてのガイドラインを策定していないが、今後策定を希望します。

(事務局)

ガイドラインの件ですが、補助金の中に医療的ケア児に対しての補助金という項目があります。その補助金を実施するにあたりまして、園の方にどういった受入れができるのか、お話をする機会もありますが、まだ医療的ケア児についてのガイドラインを定めておりません。まだ実際の利用がないところもありますが、今後ガイドラインの策定について、どうするか検討を進めたいと思っております。

(所委員長)

妊婦等包括相談支援事業において、妊娠届出時、妊娠後期、出産後に面談等による状況確認を行い、必要な支援につなげていくとともに、保健師による全数面談を実施します。と記載があるが、全数行っているのですか。

(川寄代理委員)

妊婦と包括相談支援事業の令和7年度の実績値564名につきましては、確保の内容で記載がある妊娠届出時、妊娠後期、出産後の面談、それぞれで相談を行っている回数でカウントしている数字です。そのため、実数ではなくて、延べ件数となります。

また、100%実施できていない部分もあり、現在は100%を目指して行っているという状況です。

(松本委員)

三橋委員から話があった医療的ケア児の件ですが、ご推察のとおり、学校だけでなく、アフタースクール、休日にどうすればいいかもあわせて、考えることが望ましいと思います。

どうしても、公的機関だけでなく民間も巻き込んでうまくやっていかないと、しっかりとした保育ができないと思います。

また、地域子育て相談機関について、検討するとなっているが、私どもは、ありんこの森保育園とありんこ親子保育園の2園を運営しています。

その卒園児の保護者から結構ご相談があります。そういった時に、相談に来られるのは、平日の日中ではなく、仕事が終わった後、もしくは土曜日、日曜日です。規模の大きな他市に見学に行った時には、民間がその相談窓口のとなり請負うという事例がありました。

どうしても市に相談となると平日になってしまうため、その点を含めて相談しやすい環境をどのように作っていくかを頭に入れて、相談窓口を作っていただきたいと思います。

仕事が休みの時に相談したいという保護者の希望があるということを考慮の中に入れていただきたいと思います。

最後に、多様な主体の参入促進事業についてですが、昨年度、小規模保育園をもう一つ増やしたいという相談をしました。その時にこういったものは市として認められて、どのようなものが認められないのかを明確にしたほうがいいと思いました。

(事務局)

昨年度、小規模保育の設置をどうするか検討したことがございます。年々、保育利用希望者が増えていることも要因の1つでした。大網白里市内の出生率も減少傾向であり、市内の保育施設のご協力をいただいている中で、令和8年度は、待機児童数が国の基準で0でした。

3歳児以上の受け入れは、基本的に弾力化もありますが、現在受入れが落ち着いており、1号においても、幼稚園利用者も減少傾向です。その中で、現在ニーズとしてあるのが、乳幼児だと考えられます。今後は、市の出生率を考慮しながら、検討していきたいと思っております。そのため申し訳ございませんが、すぐこの場ではお伝えができません。

(松本委員)

十分わかりますが、中にはペアトレをしたいけどどうするのといった時に、誰かやってくれないかなというお誘いがまだない。ここに書いてある事業でこれやったけど、どんなやり方があるだろうなという調査の問い合わせがあったこともないです。このようなことを積極的にやっていただきたいと思います。その中で、いいアイデアが出たりしたら、計画を実行すればいいと思います。日頃の活動が大切だと思います。市内保育事業者も一緒になって考えると思いますので、より良い市にしたいのでよろしくお願いします。

(所委員長)

その他、委員の皆様から何かありますでしょうか。

～意見等なし～

ご意見等ないようですので、本日の議題は以上となります。

進行を事務局にお返しいたします。

ご協力、ありがとうございました。

4. その他

(事務局)

それでは次第の4、その他ですが、議題とは別に何か委員の皆様からございましたら、この場で伺いたいと思います。いかがでしょうか。

～意見等なし～

それでは、事務局より事務連絡がございます。

今回の会議ですが、来年1月頃に開催したいと考えております。委員長と日程の調整をいたしまして、別途開催通知を郵送させていただきますので、皆様大変お忙しいところ恐縮ですが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

それでは以上をもちまして令和8年度第1回大網白里市子ども子育て支援推進会議を閉会いたします。本日はお忙しい中、長時間にわたりご協議いただきましてどうもありがとうございました。ご苦勞様でございました。

5. 閉 会（事務局）